

島根県看護連盟だより

TWO HEART

ツートハート

2021/9/30

第57号



INDEX

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| ● 島根県看護連盟会長挨拶 …… 2 | ● 島根県看護連盟 LINE 紹介 …… 7 |
| ● 島根県看護連盟総会報告 …… 2 | ● 医療現場のレポートⅡ …… 8～9 |
| ● 新任役員・支部長 紹介 …… 3 | ● 島根県看護連盟 創立60年
記念式典について …… 10 |
| ● たかがい恵美子参議院議員の活動報告 …… 4 | ● お知らせコーナー …… 10 |
| ● 看護連盟会員入会案内 …… 4 | ● 広告・編集後記 …… 10 |
| ● 選挙ミニ知識 …… 5 | |
| ● 医療現場のレポートⅠ …… 6～7 | |

2021. 9. 27
現在会員数

2,411 名

賛助会員数

220 名

学生会員数

6 名



島根県看護連盟
ホームページ

発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 川合政恵

〒690-0049 松江市袖師町7-11 看護研修センター内
TEL(0852) 27- 6361・FAX(0852) 27- 6417
E-mail: shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp



看護政策を前進させるため 会員力を一つに

島根県看護連盟 会長 川合 政 恵

会員の皆様には、日頃より連盟活動へのご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。

緊急事態宣言が19都道府県で延長されるなど厳しい現実直面する中、職務に当たられている看護職の皆様のご苦勞をお察しするとともに感謝の意を表します。

コロナ禍の本年5月に改正医療法が成立し、医師の働き方改革、新興感染症への対応等を医療計画に位置づける改正が盛り込まれました。法改正に合わせて医療関係職種の業務に関する法律を変え、業務範囲の見直し・拡大等を行い医師の業務をタスク・シフト／シェアを進めていくという方向性が打ち出されました。看護については継続的に特定行為に係わる研修制度の推進を図られます。医師との協働が推し進められようとする中、医療現場からは看護マンパワーの絶対的不足や看護補助者の確保困難など、看護職員の働き方を巡る問題の深刻さは明らかです。

現在、衆参両議院に4名の看護職国会議員が活躍中です。第1回参議院議員選挙で初代の看護協会長 井上なつゑ氏が当選し、連盟誕生後では今日まで、看護連盟は9名の看護職国会議員を国政の場に送っています。今後も継続して、歴史を繋いでいくことが看護界にとって重要です。私たちはその重要な使命と役割を担っています。看護職一人ひとりが看護の実践者として、政策に関心をもち、政策が形成される場にさまざまな形で影響を与えていく、その努力を積み重ねていかなくてはならないと思います。今年秋には衆議院議員選挙、そして来年夏には参議院議員選挙が行われます。看護職の政治への参加意識が試される年となります。人々により良い医療を提供できるために、看護の未来を元気にするために、そして、何よりも看護職としてのプライドを持ち働き続けられるために、会員がともに力一つとなって取組んでまいりましょう。

2021年度 通常総会報告

2021年度 島根県看護連盟 通常総会報告

◆日時：6月26日(土) 13:00～15:15

◆会場：ビッグハート出雲白のホール

昨年の総会は新型コロナウイルス感染拡大により集合開催をやめ、書面での決議となりました。貴重なご意見をたくさんいただき、その一つひとつの意見に対して役員・支部長会や委員会で検討を重ね、連盟事業に活かすことができました。

今年度はコロナ禍の中ではありましたが、ソーシャルディスタンスを保つために参加者の人数制限にご協力いただき、集合で開催することができました。当日は107名の出席（委任状1951名）がありました。



第1号議案「スローガン(案)」、第2号議案「事業計画(案)」、第3号議案「収支予算(案)」、第5号議案「役員選出(案)」についての審議は、すべて賛成多数で議案通り承認されました。

総会開催に合わせ、衆議院議員細田博之先生から特別講演「国政報告」をいただき、国や島根県の新型コロナウイルス感染症対策等について聴講しました。



* 2021年度 新任役員&新任支部長 あいさつ *



幹事
野尻 聡子

今年度新役員となり、会員ハンドブックを再度読み返しました。看護連盟の事業は① ベッドサイドの問題を政策に反映します。② 看護職を代表する議員を政策決定の場へ送ります。の2つがあります。

今まさに新型コロナウイルス感染症の看護に日々貢献しておられる看護師の皆様の努力が今後に生かされるよう、国の政策に提言し感染症対策だけに留まらない看護職場の課題への取り組みが必要です。

また、来年度は国政選挙を迎えることもあり、皆様のお力を一つにまとめ私たちの代表を政策決定の場へ送り出す機会です。看護連盟の役割は、看護協会とともに皆様の身近にあるものです。連盟の活動にご協力頂きますようよろしくお願いいたします。



監事
笹尾 孝美

今年度より島根県看護連盟監事を拝命いたしました。私は今まで組織担当幹事・浜田支部長を兼務して関わっていましたが、今年度からは、連盟の業務・会計の監査をする仕事になります。監査の役割は初めてですが、監査は連盟の運営にも大きくかわる任務と身が引き締まる思いです。

看護連盟は「看護政策実現のために国政・地方議会に代表を送り出す」「代表議員が看護問題の解決を政策決定の場で進展させるための支援」の使命があります。この使命を果たすために看護連盟は活動しています。この連盟活動は看護職のみならず、国民生活者が健康で生き生きと暮らせる社会につながります。

看護連盟活動が皆様と共に発展していけるよう微力ですが努力していこうと思っています。よろしくお願いいたします。



浜田支部長
嘉戸 尚美

今年度より、浜田支部長を拝命しました。前支部長から引き継ぎを受け、自分に役割遂行できるのか些か不安を感じている次第です。

浜田支部は、会員数・賛助会員数が少なく、会員の確保が上位目標ですが、このコロナ禍、感染防止対策に最大限留意して職務を遂行している看護職の1人1人が発している現場の声を拾い上げること、問題改善に向けての働きかけにつなげていくことを、支部役員や施設幹事と協力しながら進めていきたいと思っています。また、他の支部長との情報交換をしながら島根県看護連盟の活動に繋がるよう力を尽くしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



益田支部長
河上 百合美

コロナ発生から1年以上が過ぎ、ワクチン接種も進んでいますがそれぞれの生活に制限がある状況は変わりありません。厳しい看護の現場であることは間違いなく一層の看護力が求められています。

この度2021年6月より益田支部長に就任いたしました。2021年度の看護連盟のスローガンは「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」です。大役であり不安もありますが、少しずつ勉強して活動内容を理解し、支部長の役割が果たせるように努力していきたいと思っています。地域に働く看護師として現場の声を届け、看護職にかかわる政策の実現のために活動していきたいと思っています。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



隠岐支部長
崎 美樹

今年度より、隠岐支部長を拝命しました。

定年を迎え、今年度からは医療安全管理者という立場で隠岐病院に勤務しております。終わりが見えないコロナ禍で私たちの生活も変化し、病院では就業形態や教育形態も変わりましたが、ストレスを抱えながら看護職はみんなで前を向き進んでいます。また、ワクチン接種においては、潜在看護師の活躍を見て看護職の力を感じております。特に、離島である隠岐の島では人員確保が大きな問題であり、看護職は貴重な存在です。少しでも元気で長く働き続けられるよう、2021年度スローガンでもある看護の声をしっかりと私たちの代表に届けていきたいと思っています。微力ながら頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

たかがい恵美子参議院議員の活動報告

〈議員としての歩み・実績〉



- 2021年 自由民主党 政務調査会副会長
- 2020年 自由民主党 文部科学部会長
- 2019年 ILO100周年総会で政府代表演説
- 2018年 厚生労働副大臣
- 2017年 参議院文教科学委員長
- 2016年 第24回参議院議員選挙2期目当選
- 2015年 自由民主党 女性局長2期
- 2014年 厚生労働大臣政務官2期
- 2013年 参議院自由民主党 国会対策副委員長
- 2012年 参議院自由民主党 副幹事長
- 2011年 東日本大震災 災害対策本部事務局医療支援、復旧・復興対策に従事
- 2010年 第22回参議院議員選挙で初当選



たかがい恵美子参議院議員研修会「国政報告会」開催しました。

5月15日、たかがい恵美子参議院議員の国政報告会をオンラインで開催しました。第1部 50名、第2部 32名の参加でした。

たかがい議員から政務調査会（たかがい議員は副会長）でコロナ感染症の脅威に対峙できる体制の構築に向けた議論が交わされていること、自身の公約であった初等教育の少人数学級が実現したこと、AI・デジタル技術の活用促進、感染症有事の看護人材確保・処遇改善について予算委員会での質疑など報告を聞きました。医療施設看護管理者・訪問看護ステーション、基礎教育の現場から、コロナ禍の今だからこそ看護職の議員に届けたいという思いの詰まった意見や質問が挙がりました。



〈アンケートより〉

「現場の困りごとを聞いていただき、政策について学べた」
 「デジタル技術の活用等働き方をどのように変えていけばよいか考える機会になった」
 「自由な雰囲気発言できた」
 「現場のことをよく知り政策に繋げるよう取組んでいただいている」
 「現実の問題から政策に繋げるアイデアが豊富ですばらしい」
 「弱い立場の人たちが幸せに感じられる社会に尽力をお願いします」

たかがい恵美子のめざす社会
 ～成熟社会を創る看護力～

だいじな、
健康を増進し、
福祉を充実させます

みらい。
安心して安全に
働ける社会を
めざします

つくりたい！
おもいやりと
感謝の心を育む
教育と環境を
つくります



8月には議員と役員や支部長との懇談会を持ちました。

コロナ感染拡大時にも速やかに医療・看護体制がとれる体制の構築、ワクチン接種や宿泊施設勤務対応の支給額の低さなど、コロナ政策をめぐる意見交換で充実した時間でした。

看護連盟会員 募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正会員	年会費 9,000 円	日本看護連盟会費 5,000 円、県連盟会費 4,000 円
特別会員	年会費 9,000 円	正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方
賛助会員	年会費 1,000 円	看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます
学生会員	年会費 無 料	就学している看護学生の方

お問い合わせ 事務局 TEL (0852) 27-6361 FAX (0852) 27-6417 E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

選挙 ミニ知識



秋には衆議院議員選挙があります その投票方法について

衆議院議員の定数は 465 人で、内 289 人は小選挙区選挙で、176 人は比例代表選挙で選ばれます。小選挙区選挙と比例代表選挙の 2 つの投票になります。

また同時に最高裁判所裁判官国民審査も行われます。

〈小選挙区〉

小選挙区制は 1 選挙区から 1 人の議員を選びます。

島根県の場合、小選挙区は 2 区に分かれ（図 1）、区域の有権者がそれぞれの地区の立候補者から選び**個人名を記入**し投票します。得票数の最も多い候補者が当選になります。

図 1



◆出雲市では

旧平田市は第 1 区、

旧出雲市、旧斐川町、旧佐田町、旧多伎町、旧湖陵町、旧大社町は第 2 区となります。

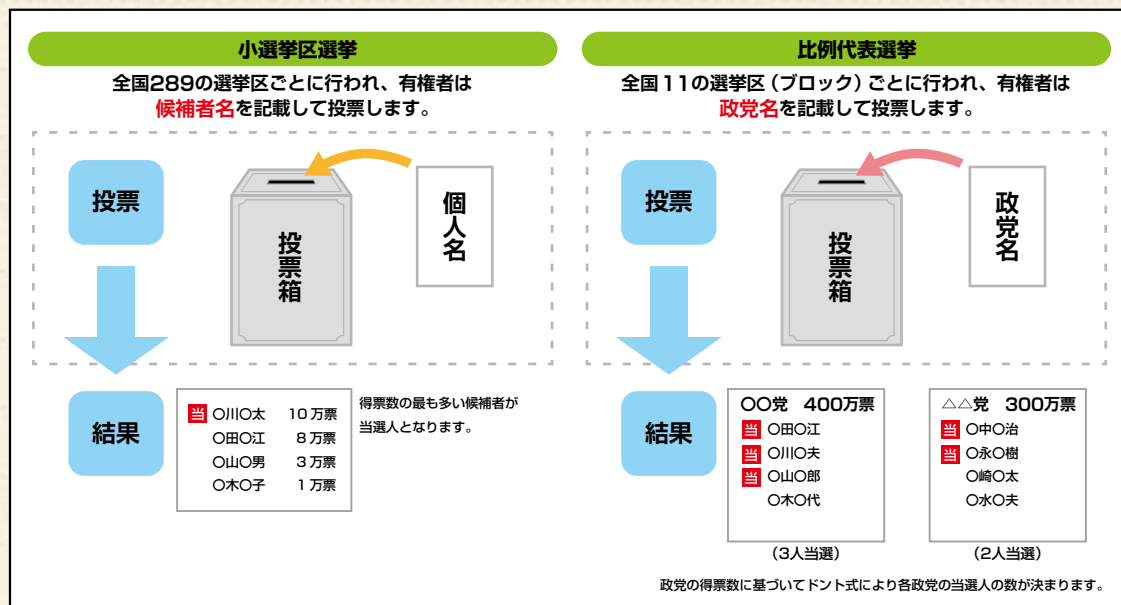
◆雲南市では

旧大東町、旧加茂町、旧木次町は第 1 区、旧三刀屋町、旧吉田村、旧掛合町は第 2 区となります。

〈比例代表選挙〉

比例代表選挙は、全国 11 の選挙区（ブロック）ごとに行われ、各政党の得票数に応じて議員を選びます。比例代表では、有権者は**政党名を記入**して投票し、選挙に届け出た政党には得票数に比例した数の議席が配分され、その数だけ名簿に登載された候補者から当選者が決まります。

島根県は中国ブロックに属し、比例名簿内順位の決め方に従い、11 人の議員が選出されます。



日本看護協会は「就業の継続が可能な働き方」の提案として、看護現場の夜勤・交代制勤務のマネジメントを支援するツールとして、「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」を公表し、「勤務編成の基準」11項目を提案しました。その項目の一部は診療報酬改定で夜間看護体制加算の要件となっています。

今号では、さまざま課題を抱えるなか持続可能な働き方として、「二交代制勤務」「勤務拘束時間13時間以内」、「看護職の業務負担軽減」に取り組んでいる2病院からレポートします。

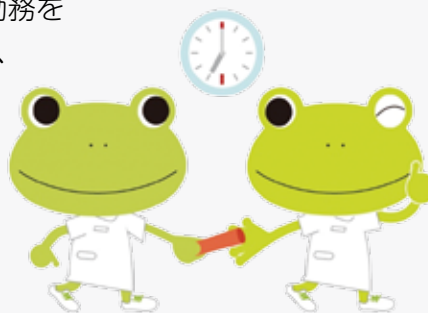


『2交代制勤務 第2世代へ』

島根県立中央病院 副院長・看護局長 伊藤 千加子

2020年病院看護実態調査報告書において、病院が採用している夜勤・交代制勤務の形態は「二交代制（夜勤1回あたり16時間以上）」が64.4%で最も多く、次いで「三交代制（変則含む）」が31.7%、「二交代制（夜勤1回あたり16時間未満）」が22.3%と示されています。

当院の正規看護職員は約620名で平均年齢は35.2歳、約100名が育児支援制度を取得して働いています。2009年に三交代の準夜と深夜を連続して行う夜勤（二交代）を導入し、二交代と三交代から自分に合った働き方を選ぶこととし、約半数が二交代を選択していました。「丸一日の休み（いわゆるフリーの休み）」が得られるため、特に子育て世代の職員は二交代を選択する傾向にありましたが、「夜勤が長くて辛い」という意見も聞かれました。一方、三交代では、休日は夜勤前後になることが多く十分な休養とならない現状がありました。そこで、日本看護協会が示す「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」に沿った拘束時間13時間以内の勤務時間に変更する取り組みを行いました。『みんながフリーの休みでしっかり休んで欲しい』と考え、夜勤は20時15分～翌9時とし、夜勤と合わせて3日分の勤務となる長日勤を新設しました。夕方からの業務を洗い出し、安全で効率的に行う方法を病棟ごとに話し合い整理しました。試行から一年が経過し、ICU・HCU・手術室を除く部署の職員が新2交代勤務に移行しました。この取り組みが目指した、仕事（ON）と、休み（OFF）を感じられるためには、時間内に仕事を終わることが重要なポイントと考えています。今は職員に根付いている「次の人に仕事を残さない」の考えを、「交代制勤務を活かして仕事を次に引き継ぐ」に変更する取り組みを、「長日勤は残業しない！させない！」を目標に掲げて行っているところです。職員の健康を守り、働きがいを感じられる組織であるために、働き方を考え続けていきたいと思っています。





看護職の業務負担軽減を目指して

出雲市立総合医療センター 看護部長 安食豊子

当院は、199床のケアミックス型の病院（4病棟）です。看護職の業務負担軽減は、今後の看護人材確保と効率的かつ意欲的に働ける職場をつくるため大切なことと考え、大きくは以下の2点に取り組んでいます。

【夜勤の負担軽減】

2019年4月より、勤務間インターバル確保と正循環への移行に取り組んでいます。病棟の勤務体制は、3交代制で、日勤（8：00～16：45）→深夜（0：15～9：00）→準夜（15：45～0：30）→休みのパターンが基本となっており、それが当たり前の風土でした。日勤を定時で帰っても深夜までのインターバルは7.5時間。当然、通勤時間など考えると休息時間はもっと短くなります。夜勤・交代制勤務状況が、心身や生活へ影響を及ぼし、医療事故を起こすリスクは否めません。まずは、日勤→深夜を止め、休み→深夜として勤務間のインターバル（11時間以上）を確保。そして、正循環の勤務編成を意識したシフトの作成を目指しました。取り組み後、「深夜の時の疲れが違うし、仕事に集中できる」「深夜入りの人がいないので、入院を気兼ねなくとってもらえる」など好評でありました。その反面「深夜の前の休みは休んだ気がしない」などの声もありました。毎月、師長会で状況の共有を行い、休みのとり方の工夫やスタッフへの必要性の説明や面談を繰り返し行いました。現在、勤務間のインターバルは、9～10割確保、正循環への移行も進んでいます。



【看護補助者への業務の移譲】

当院では、看護師の業務を整理し、各部署へ看護補助者を配置し業務の移譲を進めてきました。しかし、看護補助者の高齢化などによる離職で人数が減っており、業務を移譲したくても移譲できない状況です。昼食時や夕食時の2時間の勤務や特浴日の数時間勤務など、スポット的な採用の工夫もしていますが、看護補助者は、ほとんど会計年度任用職員でもあり、採用に大変苦労しています。看護補助者の人材確保は急務です。

県連盟は「現場の声活用委員会」を設置し、看護管理者の委員が活動しています。現場からの意見や要望をお待ちしています。ホームページ「現場の声」、文書などでお寄せ下さい。



島根県看護連盟のLINE公式アカウント

島根県看護連盟のLINE公式アカウントで最新情報を届けます。QRコードでLINEの友だちを追加して下さい。



昨年来 COVID-19 感染症の予防対策「密閉、密集、密接」の三密を避ける環境下で就職された新人の方、またその指導の任に当たられた方は、集合教育や気軽に集まって話す機会も少なく、悩みや不安を持ちながら過ごして来られたと思います。

一年半が過ぎた今、昨年の新人と指導者の方にこの一年を振り返っての思いを寄稿していただきました。

今春就職された皆様にとっては一年後の姿の参考に、また同僚の皆様にとっては共に支え成長して来られた過程を思い起してもらう機会になればと思います。

新人看護師の声

● 新人看護師 A (令和 2 年 4 月就職)

COVID-19 が流行している中での就職で大変だったことは、集合研修がなくなり看護技術や知識が浅いま現場に入ることでした。学生時代の実習とは異なり自分の行う看護の一つ一つに責任が伴うので、毎日疾患の勉強や業務を覚えることに必死でした。看護技術は、事前に予習を行い、先輩のフォローのもとで実施、その後振り返りを行うことで技術の習得につなげました。知識面では、配布された資料や部署研修、e-ラーニングを通して知識取得に努めました。また、COVID-19 が落ち着いた時期には、休日に同期とともに勉強する機会をつくり、お互いに疑問に思っている点やわからないことを共有するようにしていました。

私は希望した ICU・CCU に配属になりました。ICU・CCU は毎日状態が変化する患者さまばかりで日々学習することが多く悩みのつきない毎日です。しかし、同期と励ましあいながら、先輩方にさまざまなことを教えていただきながら患者さまに最良の看護を提供していきたいと思います。COVID-19 の感染収束の見えない中で不安はありますが、患者さまやご家族が落ち着いて療養できるように、看護技術や知識を身につけていきたいです。

● 新人看護師 B (令和 2 年 4 月就職)

この一年を振り返ると、あっという間の一年だったなと感じます。初めて看護師として働き、環境にもなかなか慣れず、看護技術や知識、患者さまとの関わり方などわからないことばかりで覚えることに精一杯でした。できないことばかりに目が向き、自分の中の理想の看護師像と実際に働いている自分とのギャップが大きく、初めのころは働くことに対してとてもつらさを感じていました。

しかし、集合研修での振り返りや、同期や先輩方と話をしていく中で、周りの人も同じように感じたり、考えていることを知り、自分だけではないと心が軽くなりました。同期の支えや先輩方のフォローがあり、つらい時期を乗り越えることができたと思います。まだまだたくさんわからないことがあるので、今後も学ぶ姿勢を大切に、知識や技術、コミュニケーション能力を獲得し患者さまに寄り添える看護師になれるように努力していきたいと思っています。

● 新人看護師 C (令和 2 年 4 月就職)

私が一年を振り返り困難に感じたことは、患者さんへの関わりです。集中治療部に配属となり入職当初は、仕事を覚えなければいけないという思いから、処置や治療後の患者さんへの声かけができていない時がありました。また、患者さんの訴えに対してどう対応していいかわからず困ってしまうこともありました。

しかし、声掛けは患者さんの安心感にも繋がるため処置の際など声掛けを行うように心がけていき、訴えに対してはベアの看護師に相談し一緒に考えてもらったり、自分から提案しアドバイスをもらったりしながら患者さんに関わっていくことができました。患者さんの訴えや思いに対して深くかわかっていくことで患者さんの笑顔が見られたり「ありがとう」の言葉をいただいたりすることができ嬉しかったです。今後もチームで協力しながら患者さんに寄り添った看護をしていきたいです。

● 新人看護師 D (令和 2 年 4 月就職)

私は脳神経外科と泌尿器外科のある病棟で勤務しています。昨年 1 年間で 1 番困難に感じたことは、日々の業務を覚えることに精一杯で患者さん一人一人の思いをゆっくり聞くことができなかったことです。振り返りの際に先輩看護師に相談すると、患者さんとの時間を作るために優先順位を考えチームで協働することが重要だと教えていただきました。それから優先順位の立て方や情報交換などをより意識するようになりました。

1 年間を通して先輩看護師の関わりから多くを学び、そこから自分の関わりを振りかえることができ、PNS の良さを感じました。昨年は新型コロナウイルス感染症により仕事以外での看護師同士の関わりはあまりありませんでしたが、それでも私たち新人が病棟に馴染めるように看護師長をはじめとするスタッフの皆さんがいつも気遣い、支えてくださいました。2 年目になった今、今度は私が患者さん、スタッフの支えになれるように頑張っていきたいと思っています。

指導者の声

● 新人看護職員の指導者 E

COVID-19 が流行し始めた年に新人教育担当者に任命されました。予定されていた新人対象の看護技術などの集合研修が急遽中止になり、OJTへ変更になりました。勤務時間内での指導やそれに伴う準備などもあり、新人教育担当者の負担は例年よりも大きいように感じました。もともと集合研修で行っていた内容をどのようにすればわかりやすく伝えることができるのか悩むこともありましたが、担当者と話し合ったり、他病棟の指導方法を取り入れたりしながら OJT をすすめてきました。

今年度も新人教育担当者に任命されました。COVID-19 の影響により、臨床実習が十分行えなかった新人を指導することになり、昨年度とは異なる大変さを感じています。看護師7年目となり、指導される側から指導する側となりましたが、新人と一緒に自分も成長するような気持ちで、今後も新人と関わっていきたいと思います。

● 新人看護職員の指導者 G

後輩への指導を通して、指導の難しさを感じ、こちらの働きかけによる新人への影響を具体的に学ぶことができました。後輩指導には様々なコーチングスキルが使われるが、ただコーチングスキルを使うだけでは新人も答えにくく、こちらの意図も伝わらない可能性があると感じました。そのため、こちらの意図をなるべく正確に伝え、新人も答えやすいようにコミュニケーションをとるには、コーチングスキルに加えて具体的な場面や事柄を提示すること、自分はどんなことに気を付けて看護を行っているのかを伝えることも必要だと学びました。

また、日々看護をする中で、できなかったことだけでなく、できたことやできるようになったことをこちらが見つけられるように意識し褒めながら関わることで、新人が自分の看護に自信を持てるようになるのではないかと感じました。

現在は、できることが増え、様々なことを任せられるようになってきている時期であるからこそ、一つ一つの看護に対して目的を再確認し、説明しながら行うことで新人が自分の看護や行動に意味づけできるようになると感じています。

● 新人看護職員の指導者 F

「新人看護師はコロナ禍で臨地実習が十分にできず不安を抱えている」と聞き、新人教育担当者として“振り返り”と“できることを認め、伝えること”をがんばろうと思いました。実習が十分できなかったため臨床現場で学ばなければいけないことも多く、新人から「まだ全然動けない、できない」等のネガティブな意見を聞くことがあります。技術や看護等、できているのに自信がない、できていることに気づかない新人もいます。

自県もコロナ禍の影響が大きくなり、勤務調整等のため忙しすぎてゆっくり指導や振り返りができない現状です。そのような状況のなかで、短時間でも振り返りの時間を設け、新人看護師が自分でできることを把握し、それが自信につながるように働きかけています。また、できない、自信がないと思うところはどうすればよいかを一緒に考え、スタッフへも周知して実践できるようにしています。これからも厳しい状況が続きますが、病棟全体で頑張っていきたいと思います。

● 新人看護職員の指導者 H

実地指導者を始めるとき、自分自身の経験をもとに新人看護師の支援をすることを心掛けました。先輩たちは話をしっかり聞いて下さり精神的なサポートをしてくれましたが、命を預かる現場なので当然に厳しさがありました。正直、新人の時にとてもつらい時期が長くありましたがそんなときにいつも声をかけてくれたのが私の実地指導者でした。

実際に実地指導者をしていて伝えることの難しさを感じましたが、新人看護師が私の新人の時と同じように辛そうにしている姿をみて、私が先輩にしてもらったように声をかけました。実地指導者のなかで一番感じたのが自分の成長よりも、他人の成長を近くでみるの方が達成感や嬉しさが大きかったということです。どんどん成長される姿をみることは、私自身ももっと頑張ろうという気持ちになり、実地指導者を通して知ることができよかったと感じます。



